

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄復帰記念式典(1) (閣議決定、関係省庁連絡会議)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43577

合信 (半大、沖繩)

秘密表示(朱印)
平文

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2		2
付 属	あり(先の手紙)		

発送日 昭和47年1月11日
処理日
発信 11 タイプ 検査

文書課長 公文案 (分類)

公文番号 米北1合第 93 号	公文日付 昭和 47年 1月 10日	
大 所 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	起案 昭和47年 / 月 / 日 起案者 電話番号 ハマ中 2465
協議先		
受信者 在米 中場大使 沖縄復帰準備委 日本国政府代表	発信者 外務大臣	
写送付先	(希望発送日)	月 日
件 名 沖縄復帰の日の記念式典		

GA-2 10 243 外務省 回覧番号

米北1合第 93 号
昭和47年1月10日

在外公館長殿

外務大臣

(件名)
沖縄復帰の日の記念式典

引用公・電信
日付・番号

1月9日付サンケイ紙は本件に関する記事を掲載したところ、本件式典の挙行につき沖縄・北方対策庁より聴取した際の記録字参考までに別添送付する。

本信送付先 米, 沖縄復帰準備委員会 日本国政府代表

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1 外務省

(※印は文書課記入)

大臣秘書官
次官秘書官
官給課
官房主任

アメリカ局長
参事
北米第一課長

沖縄復帰の日の記念式典について

46. 1. 10
北米第一課

1月9日付サンケイ紙掲載の本件記事(別添参照)につき、対策庁総務課(平野事務官)につき聴取

したところ次のとおり。

1. 対策庁(総務)はかねてより沖縄復帰日に東京にて記念式典を挙行することを検討中で

これに要する予算6,000万円を要求している。但し式典を沖縄で行なうことについては主催団体が何れとなるか等決まっていな

ので予算等は考えていない。

2. サンクレトンテ日米首脳会談において、沖縄の復帰日が5月15日に決定された結果、

(1月8日)

片は内閣と協議したところ、東京で行なう本件式典は内閣主催で行なうこととし、内閣高議

室にプロジェクトチームを編成し、予算その他式典の具体化を推進することになった。

3. 東京の式典は、後帰日に日本武道館で行ない、両陛下をお迎えすることを検討中

であるが、沖縄における式典には山中総務長官が出席することになる模様である。

その他の計画については目下のところ具体的に決まらぬのはない。

沖縄復帰の日、盛大に祝う

東京・那覇で式典

(サンケイ)

テレビで結び同時開催も

政府検討

東京・那覇の両市で、沖縄復帰の日(五月十五日)を迎えるにあたり、五月十五日(日)に、東京・那覇の両市で、それぞれ式典を開催する。また、同日午後八時、東京・那覇の両市で、テレビで同時開催される。式典は、それぞれ市長が祝詞を読み、花火が上がる。東京の式典は、午後七時から、那覇の式典は、午後六時から、それぞれ開催される。また、同日午後八時、東京・那覇の両市で、テレビで同時開催される。式典は、それぞれ市長が祝詞を読み、花火が上がる。東京の式典は、午後七時から、那覇の式典は、午後六時から、それぞれ開催される。

開催方式、午前が東京、午後が那覇と、東京・那覇の両市で、それぞれ式典を開催する。また、同日午後八時、東京・那覇の両市で、テレビで同時開催される。式典は、それぞれ市長が祝詞を読み、花火が上がる。東京の式典は、午後七時から、那覇の式典は、午後六時から、それぞれ開催される。

秘密表示 (朱印)
平文

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2		2
付 属	シ(2021)		

送 日 昭和47年1月26日
処 日
発 日 12 タイプ 検査 13

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 番 号	米北1合 第 266 号	公 信 日 付	昭和 47 年 1 月 25 日
大 臣	主 管	起 案 日	昭和 47 年 1 月 24 日
政 務 次 官	アメリカ局長	起 案 者	112中
事 務 次 官	参 事 官	電 話 番 号	2465
外務審議官	北米才一課長		
外務審議官			
官 房 長			
協 議 先			
受 信 者	在 米 大 使 沖繩復帰準備委 日国政府代表	発 信 者	外務大臣
写 送 付 先		(希望送日)	月 日
件 名	沖繩復帰記念式典の挙行		
GA-2	25 89	外務省	回覧番号

米北1合第 266 号

昭和47年1月25日

在外公館長殿

外務大臣

(件名)
沖繩復帰記念式典の挙行

引用公・電信
日付・番号 1月10日付往信米北1合才93号

沖繩復帰記念式典を5月15日東京及び那覇に
おいて挙行すること、及び同記念式典実施のため
総理府に連絡協議会を設置すること等については、
去る18日閣議口答了解を得たこと、本件の今後
の進め方につきアメリカ局と内閣とが協議した

※ 付属資料 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

(※印は文書課記入)

GA-2-1 外務省

降の記録(1月14日付)等参考までに別添
送付する。

別紙添付
本信送付先 米大、沖縄復帰準備委日本政府代表

秘密表示(捺印) 極 秘 無 期 限 部 号 号		部 数 指 示 主 信 2 付 属 (知事) 属		発 信 用 備 考 2	
あて先別 付属校査渡し		送 日 昭和47年2月3日 発 信 局 進 タイプ 校 査			
文書課長 公 信 案 (分類)					
公 信 番 号 米北 第 378 号 日 付 昭和 47年 2月 2日		主 管 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長		起 案 昭 和 47 年 2 月 / 日 アメリカ局長 参 事 官 北米オ一課長 起 案 者 電話番号 112中 2465	
協 議 先					
受 信 者 在 米 大 使 沖 繩 復 帰 準 備 委 日 本 国 政 府 代 表 (2-2)		(2-1) 受 信 者 外 務 大 臣			
写 送 付 先		(希望送付日)			
件 名 沖 繩 返 還 記 念 式 典 に 関 する 米 朝 感 触 (非公式会合)					
GA-2		2 220 外務省		回覧番号	

米北1合第 378 号
昭和47年2月 28

外務大臣

(件名)
沖縄返還記念式典に関する非公式会合

引用公・電信
日付・番号 昭.47.1.25付往信米北1合第266号

1月31日、アメリカ局において在京米大使館
担当官を招致し、沖縄返還記念式典に関する
非公式話し合いを行なったところ、右に關する
記録字貴使お含みまことに別添送付する。

本信送付先 米、沖縄復帰準備委員会
日本国政府代表

(※印は文書課記入)

在京米大使館と協議中につき

秘密表示(朱印)
極 秘
無 期 限
部 内 号

あて先別
付属校査渡シ

部数指示	発信用	執務用	備 考
主 信	2		2
付 属			

発送日 昭和47年2月25日
処理日
発信 タイプ 検査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 米北1合第 641 号 公 信 昭和47年2月24日
番 号 日 付

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	起案 昭和47年2月23日 起案者 電話番号 H2中 2465
------------------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

協 議 先

受 信 者 在 米 半場大使 (2-1)
沖縄復帰準備委 日本国政府代表 (2-2)
発 信 者 外務大臣

写 送 付 先 (希望発送日)
月 日

件 名 沖縄復帰記念式典に関する記録の送付
令送

米北合第 641 号
昭和 47 年 2 月 24 日

外務大臣

(件名) 沖縄復帰記念式典に関する会談記録
の送付

引用公・電信
日付・番号

2月22日、沖縄復帰準備委吉岡公使及び深田
北米才一課長は、総理府栗山副長官を往訪し、沖
縄復帰記念式典に関する問題について会談した
ところ、その際の記録早貴使お含みまで別添送
付する。本信送付先米、
沖縄復帰準備委員会 日本国政府代表

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1

外務省

極 秘
無 期 限
部の内
号

事務次官 ~~儀典長~~ アメリカ局長
官房長 ~~儀典官~~ 参事官
官房総務参事官 安全保障課長 北米才一課長
官房書記官

沖縄復帰記念式典

47.2.22

米北1

2月22日、吉岡 沖縄復帰準備委公使
及び深田北米才一課長が 総理府栗山

副長官を往訪、本府にて会談せしこと、
要旨記す。 (送方: 岡田外務省総務

部長、小田村審議室長、吉岡管理室長 ほか、
当方 加藤出席)

1. 吉岡公使より、沖縄現地の状況について大要
状況の説明。

(1) シンポート、動向

GA-5

3703

外務省

米北
沖
返
り

(※印は文書課記入)

5月15日 0:00以降 行ったことについて

沖縄を去り 上京する方針に変更あり
 とは「前」に「な」。東京の式典には
 右の軍の「経」に基づいて、感情的な要素は「な」
 大層しき可能性があった。

ワイパーは22日の場合と同様の
 米側の進行と見られる。

あると思ふ。即ち、米側は(返還式と見られる)に
 (2) 国旗降下掲揚 4月15日 5月15日 15日 15日 15日

米側は、沖縄に於いては(1) 国旗の
 掲揚は既に数年前から自由であり、
 また(1) 星条旗は基地内へ行く、復帰後
 も掲揚できるようになる所を「な」抑々
 掲揚は215に「な」の2、降下の問題は
 起る「な」、また(1) 国旗の降下も
 掲揚は、植民地独立の歴史に「な」

水了行事であり、今後の式典の趣旨
 とは「な」に「な」と思ふとの
 態度である。(「な」に「な」)

(3) 現地に於ける盛り上り。
 不足気味である。平新至は抑々

5月15日の復帰を心からよしとするとの
 態度は「な」に「な」、米側系は「な」に「な」

経済面における復帰不安があったのか
 その理由も「な」。

2. (5月15日 ランポートから沖縄に「な」と
 すれば、米側の代表は誰と「な」のか、
 現地に「な」
 との意向傾向に「な」) 沖縄軍司令部
 (「な」に「な」) 在野
 ランポートの「な」
 米総領事、又は米政府派遣要人

(高瀬大佐)

4

の 11月16日の代表と15日夕方 当方

より説明。

3. 式典の内容

当方須田に於て、是方より次のように説明。

(1) 東京と所帯の式典は同じ形とし、簡潔にして厳粛な旨とす。

(2) 式次第として、総理祝辞、天皇陛下の御言葉、来賓祝辞、青年代表に於て決意表明等の行事を考へたる。米國要人の挨拶に於ては、(米國の代表を含む)

代表に於て決意表明等の行事を考へたる。米國要人の挨拶に於ては、

大統領のスピーチの代読を要すこと、是れは日米の挨拶を要すことと異なる。

とす。

5

(当方より、要人派遣に於て) 記=

米側には申入れ済みであるが、内閣省は真剣な態度で検討中である

説明。

(3) 山中大臣は 総理の代理として

現地の 5月15日 式典を主宰すべく、

5月14日に 沖波電に到着した。

(当方より、5月14日午後14時に、米側代表のスピーチを内閣省に送り、山中大臣と同様行事を行なうこととす。

との意向と承知す。米側の意向を要し、高瀬大佐の準備委代表として、

高瀬大佐の準備委代表として、

5月14日を以て終了すべく、準備室

として、5月15日の現地式典に是非

(高瀬大佐の意向は余り固執せず、)

向大臣の主席を要すことと考へたる。

秘密表示 (朱印)
平文

部 放 指 示	発信用	執務用	備 考
主 信	2	2	
付	あり (2月1日)		
属			

発送日 昭和47年2月26日
 処理日
 発信 校 査

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 米北1合 第 648 号 公 信 昭和 47年 2月 25日 日 付

大 臣 主 管 起 案 昭 和 47年 2 月 24日

政 務 次 官	アメリカ局長 ?
事 務 次 官	参 事 官 ?
外 務 審 議 官	北米才一課長
外 務 審 議 官	
官 房 長	

起 案 者 ハマ中 電 話 番 号 2465

協 議 先

受 信 者 在 米 大 使 沖 縄 復 帰 準 備 委 日 本 国 政 府 代 表

発 信 者 外 務 大 臣

写 送 料 先 (希 望 送 信 日)

件 名 公 信 転 報 (沖 縄 の 日 本 復 帰 時 に お け る 祝 典 行 事)

GA-2 25 24 外 務 省 回 覧 番 号

米北1合 第 648 号
 昭和 47年 2月 25日

在 外 公 館 長 殿

外 務 大 臣

公 信 転 報 (沖 縄 の 日 本 復 帰 時 に お け る 祝 典 行 事)

本 件 に 関 す る 下 記 公 信 (1) 通 を 転 報 す る。

記

47年 2月 18日 在 米 大 使 へ 送 本 大 臣 あ て 第 102 号

付 属 添 付

本 信 送 付 先 米 沖 縄 復 帰 準 備 委 日 本 国 政 府 代 表

GA-4

外 務 省

秘密表示(朱印)
秘
無期限

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	3		2
付	あり(物の平)		
属			

発送日: 昭和47年3月8日
処理日:
発信タイプ: 検査

文書課長 公信案 (分類)

公信番号 米北合第 815 号 公信日付 昭和 47年 3月 8日

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 3 参事官 3 北米才一課長 1	起案 昭和47年3月7日 起案者 12中 電話番号 2465
協議先		
受信者 在米 牛場大使 沖縄復帰準備委 日本国政府代表	発信者 外務大臣	
写送付先	(希望発送日)	
件名 沖縄復帰記念式典に関する総理府本府内連絡会議記録の送付		
GA-2 255	外務省	回覧番号

「連絡会議」欄にあり

米北合第 815 号
昭和47年3月 8日

在外公館長殿

外務大臣

(件名)
沖縄復帰記念式典に関する総理府本府内
連絡会議記録の送付

引用公・電信
日付・番号

3月1日、総理府において開催された本件会議
記録字1部参考までに別添送付する。

本信送付先 米大、沖縄復帰準備委 日本国政府代表

※ 付属郵便 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1 外務省

(※印は文書課記入)

秘密表示 (朱印)
秘
 黒 期 限

部数指示	発信用	業務用	備考
主 信	2		2
付 属	あし(この中)		

発送日 昭和47年3月14日
 処理日
 発信 タイプ 検査

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 番 号 米北 合 第 872 号 公 信 日 付 昭和 47 年 3 月 13 日

大 臣 官 房 長 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参 事 官 北米才一課長	起 案 日 付 昭和 47 年 3 月 11 日 起 案 者 112 中 電 話 番 号 2465
--------------------------------------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------------------------------

協 議 先

受 信 者 在 米 大 使 沖 縄 復 帰 準 備 委 日 本 国 政 府 代 表
 発 信 者 外 務 大 臣

写 送 付 先 (希望 発送 日)

件 名 沖 縄 復 帰 記 念 式 典 へ の 招 待 者

GA-2 外 務 省 13 53 回 覧 番 号

米北 合 第 872 号
 昭和 47 年 3 月 13 日

在 外 公 館 長 殿
 外 務 大 臣

(件名) 沖 縄 復 帰 記 念 式 典 へ の 招 待 者

引用公・電信 2月28日付
 日付・番号 在米川内総領事宛電信米北1才40号

本件に関する総理府沖縄復帰記念式典準備室との打合せ記録を参考資料として別添送付する。

本 信 送 付 先 米 大 . 沖 縄 委

※ 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (代) 付属船便 (郵)

GA-2-1 外 務 省

ホーレル 總 務 課 へ 送 付

秘密表示 (未印)

秘
無期限

部数指示	発信用	業務用	備考
主 信	2		2
付 属			

発送日 昭和47年3月14日
 処理日
 発信 身 タイプ 検査

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 号 米北1合第 873 号 公 信 口 付 昭和 年 月 日
 起案 昭和47年3月13日

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主 管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	起案者 電話番号 12中 2465
----------------------------------------------	--------------------------------	----------------------

協議先

受信者 在米大使 沖繩復帰準備委員会日本国政府代表
 発信者 外務大臣

写送付先 (希望発送日)

件 名 米2回沖繩復帰記念式典準備連絡会の記録送付

GA-2 13 52 外務省 回数番号

米北1合第 873 号
 昭和47年3月13日

在外公館長殿

外 務 大 臣

(件名)
 米2回沖繩復帰記念式典準備連絡会の記録送付

引用公・電信 3月13日付在米北1合才872号
 日付・番号

3日午後総理府において開催された本件会議
 の記録字参考までに別添送付する。

本信送付先 米大 沖繩復帰準備委員会日本国政府代表

※ 付属部付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

GA-2-1 外務省

関係省庁連絡会議
 4月

秘密表示 (朱印)
平文

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2		2
付	あり(名のみ)		
属			

発送日 昭和47年3月30日
処理日
発信 タイプ 検査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 番号 米北1/A 第 1082号 公 信 昭和 年 月 日 日付 昭和47年3月29日

大 臣 主管
政務次官
事務次官
外務審議官
外務審議官
官 房 長

アメリカ局長
参事官
北米才一課長

起案者 12中 電話番号 2465

協議先

受信者 在米 半場大使
沖繩復帰準備委 日本国政府代表

発信者 外務大臣

写送付先 (希望発送日)

件 名 沖繩復帰記念式典に関する各省連絡会議の記録
送付

GA-2 外務省 回数番号 29 203

米北1/A 第 1082号
昭和47年3月29日

在外公館長殿
外務大臣

(件名) 沖繩復帰記念式典に関する各省連絡会議の記録
送付

引用公・電信 3月13日付 米北1/A 才 873号
日付・番号

3月17日 沖繩復帰記念式典準備室において本件
議が開催されたところ、同会議の席上 配布された
記念式典の実施に関する議決案等の資料(写等)
参考までに別添送付する。

本信送付先 米、沖、牛

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属空便(貨) 付属郵便(郵)

GA-2-1 外務省

関係各省連絡会議構にあり

秘密表示 (朱印)
平文

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	1	X	21
付属	あり(その中) 付属添付		

発送日 昭和47年4月24日
 処理日
 発信 21タイプ 検査 済

文書課長 公 信 案 (分類)

公信番号 米北1 第 90 号	公信日付 昭和47年4月24日
犬 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長
協議先	起案 昭和47年4月22日 起案者 112中 電話番号 2465
受信者 在沖繩復帰準備委 日本国政府代表	発信者 外務大臣
写送付先	(希望発送日) 4月25日
件名 沖繩復帰記念式典参列者推せん名簿の送付	

GA-2 外務省 回覧番号 24 9

米北1第90号
昭和47年4月24日

沖繩復帰準備委員会
日本国政府代表 殿

外 務 大 臣

(件名)
沖繩復帰記念式典参列者推せん名簿の送付

引用公・電信
日付・番号 往電米北1 121号

冒頭宛を言及の本件名簿字名1部別添のほかり
送付する。

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1 外務省

添付なし

秘密表示(朱印)
秘
無期限

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	2		2
付	あり(その外)		
属			

発送日 昭和47年4月26日
処理日
発信タイプ 検査(1)

文書課長 公信案 (分類)

公信番号 米北合第1477号 公信日付 昭和47年4月25日

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 第一局長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課長	起案 昭和47年4月25日 起案者 電話番号 ハニ中 2465
協議先		
受信者 在米 半場大使 在沖縄復帰準備委 日本政府代表	発信者 外務大臣	
写送付先	(希望発送日)	
件名 沖縄復帰記念式典準備省庁連絡会議の記録送付(計3回)		

GA-2 25 212 外務省 回覧番号

関係省庁連絡会議構にあり

米北合第1477号
昭和47年4月25日

在外公館長殿

外務大臣

(件名)
沖縄復帰記念式典準備省庁連絡会議(計3回)の記録送付

引用公・電信 日付・番号 昭.47.3.29付往信米北合才1082号

4月20日総理府において開催された本件会議の記録等1部参考までに別添送付する。

本信送付先 米 沖縄復帰準備委員会 日本国政府代表

(※印は文書課記入)

GA-2-1 外務省